

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ニチリョク
 コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 寺村 久義
 (氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	2,442	6.4	351	40.2	320	44.4	178	52.0
21年3月期第2四半期	2,296	—	250	—	222	—	117	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	13.27	—
21年3月期第2四半期	8.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	10,754	4,010	37.3	301.21
21年3月期	10,855	3,943	36.3	292.73

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 4,010百万円 21年3月期 3,943百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	7.50	7.50
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,900	2.1	770	7.5	680	2.5	320	18.9	23.75

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	13,741,014株	21年3月期	13,741,014株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	426,666株	21年3月期	268,666株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	13,426,047株	21年3月期第2四半期	13,727,348株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 第2四半期累計期間業績予想につきましては、平成21年5月15日付「平成21年3月期決算短信(非連結)」で公表しました業績予想を修正いたしました。なお、業績予想の修正内容につきましては、平成21年11月6日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年来の国際金融危機の深刻化を背景に、引き続き景況感の悪化による個人消費が低調に推移しており、景気の先行きはなお予断を許さない状況にあります。当社が属する供養産業におきましても、死亡者が年々増加しているにもかかわらず業者間格差が広がりつつあります。特に景気の後退と年間問題等で高齢者の将来不安は払拭されず、購買意欲は依然低調であります。これに伴う同業他社との競争激化による顧客単価の下落という厳しい状況下、当社はビジネスモデルのチェンジ、即ち屋外墓地の霊園事業から、供養の全てをバックした堂内陵墓事業への展開を引き続き図るとともに、愛彩花倶楽部会員獲得に積極的に取り組み、葬儀見込み客の囲い込みを進めた結果、売上、利益とも前年同期に比べ増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高24億4千2百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益3億5千1百万円（前年同期比40.2%増）、経常利益3億2千万円（前年同期比44.4%増）当第2四半期累計純利益1億7千8百万円（前年同期比52.0%増）となりました。

各事業の状況は次のとおりです。

<霊園事業>

従来式の屋外墓地につきましては、景気後退による影響で、比較的高価格となる墓地の買い控え並びに小規模傾向が続く環境下ながら、売上高は12億7千9百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

<堂内陵墓事業>

堂内陵墓第三号「関内陵苑（横浜市中区）」の販売手数料収入は、景況感の悪化にもかかわらず、引き続き顧客からの好反響・支持を受けており、当初の計画を上回る販売数で推移しております。また、堂内陵墓第四号「覚王山陵苑（名古屋市中種区）」が昨年3月に完成し、順調な販売実績を上げております。売上高は6億5千7百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

<葬祭事業>

愛彩花倶楽部会員数の順調な増加により、葬儀施行件数が順調に伸びたことに加え、現代の住環境に適した家具調モダン仏壇仏具専門店「愛彩花ギャラリー」の売上も貢献し、葬儀の地味化傾向からの施行単価の下落を補い、売上高は5億6百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末における財政状況につきましては、流動資産は前事業年度末に比して1億3千2百万円増加し、44億7千4百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金2億3千3百万円の増加、永代使用権1億3千4百万円の減少によるものです。

固定資産は2億3千3百万円減少し、62億7千9百万円となりました。その主な要因は、霊園開発協力金1億6千3百万円及び長期貸付金1億1千万円の減少によるものです。

流動負債は2億円増加し、39億8千9百万円となりました。その主な要因は、短期借入金1億1千1百万円及び未成工事受入金1億3百万円の増加によるものです。

固定負債は3億6千8百万円減少し、27億5千4百万円となりました。その主な要因は、長期借入金4億4千3百万円の減少、社債4千7百万円の増加によるものです。

純資産は6千6百万円増加し、40億1千万円となりました。その主な要因は、利益剰余金7千7百万円の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、主に営業収入及び貸付金の回収がありましたが、一方では借入金の返済もあり、前事業年度末に比して、2億3千6百万円増加し、当第2四半期会計期間末は14億1千5百万円となりました。

当第2四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれら要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億2千万円（前年同期は1億3千9百万円の獲得）となりました。これは、主として営業収入（8億9百万円）と法人税等の支出（1億4千5百万円）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、2千3百万円（前年同期は3億6百万円の獲得）となりました。これは、主として貸付金の回収（1億5千6百万円）と差入保証金（4千6百万円）及び貸付金（4千6百万円）の支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、4億7百万円（前年同期は6億8千2百万円の使用）となりました。これは、主として借入金の返済（3億2千万円）及び配当金（1億円）の支出によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間業績予想に関しては、平成21年5月15日付「平成21年3月期決算短信（非連結）」で公表しました業績予想を修正いたしました。なお、業績予想の修正内容につきましては、平成21年11月6日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成22年3月期の通期業績予想に関しましては、景況感の悪化による個人消費環境は依然厳しいとの状況を鑑み、平成21年5月15日公表しました業績予想を据え置くものとします。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税の納付税額の算定に当たっては、加味する加減算項目を重要なものに限定しております。繰延税金資産の回収可能性の判断にあたっては、前事業年度末以降、経営環境に著しい変化はなく、かつ一時差異の発生状況に大幅な変化がないため、前事業年度末において使用した将来の業績予測及びタックスプランニングを使用しております。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,708	1,756,676
完成工事未収入金	89,381	94,551
売掛金	158,881	227,300
永代使用权	1,353,906	1,488,284
未成工事支出金	438,751	412,254
原材料及び貯蔵品	70,371	74,108
その他	373,804	289,312
貸倒引当金	△11	△61
流動資産合計	4,474,794	4,342,426
固定資産		
有形固定資産	1,324,902	1,344,052
無形固定資産	329,541	374,836
投資その他の資産		
長期貸付金	1,166,835	1,277,689
霊園開発協力金	1,520,950	1,684,389
その他	2,202,662	2,096,588
貸倒引当金	△265,173	△264,303
投資その他の資産合計	4,625,275	4,794,363
固定資産合計	6,279,720	6,513,252
資産合計	10,754,514	10,855,678
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,933	50,948
短期借入金	635,020	523,600
1年内返済予定の長期借入金	2,126,339	2,114,190
1年内償還予定の社債	106,000	106,000
未払法人税等	160,694	150,479
賞与引当金	49,900	49,000
役員賞与引当金	7,620	18,000
その他	856,061	776,754
流動負債合計	3,989,568	3,788,973
固定負債		
社債	148,000	101,000
長期借入金	2,279,746	2,723,430
退職給付引当金	187,686	167,987
役員退職慰労引当金	106,243	97,716
その他	32,834	32,834
固定負債合計	2,754,511	3,122,968

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	6,744,079	6,911,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,938,335	1,861,204
自己株式	△77,489	△45,896
株主資本合計	4,125,771	4,080,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△95,312	△116,168
繰延ヘッジ損益	△20,023	△20,326
評価・換算差額等合計	△115,335	△136,495
純資産合計	4,010,435	3,943,737
負債純資産合計	10,754,514	10,855,678

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,296,465	2,442,382
売上原価	798,929	888,643
売上総利益	1,497,535	1,553,739
販売費及び一般管理費	1,246,613	1,202,039
営業利益	250,922	351,700
営業外収益		
受取利息	26,420	20,562
保険解約返戻金	9,446	—
受取配当金	6,169	5,644
その他	10,125	12,208
営業外収益合計	52,162	38,414
営業外費用		
支払利息	74,587	66,880
その他	6,387	2,428
営業外費用合計	80,975	69,309
経常利益	222,108	320,805
特別損失		
固定資産売却損	—	117
特別損失合計	—	117
税引前四半期純利益	222,108	320,688
法人税、住民税及び事業税	96,778	155,628
法人税等調整額	8,094	△13,113
法人税等合計	104,872	142,514
四半期純利益	117,235	178,173

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	1,350,812	1,394,035
売上原価	475,991	530,955
売上総利益	874,821	863,079
販売費及び一般管理費	644,814	605,546
営業利益	230,006	257,533
営業外収益		
受取利息	13,233	10,208
その他	6,124	3,683
営業外収益合計	19,358	13,891
営業外費用		
支払利息	38,170	33,547
その他	1,894	1,978
営業外費用合計	40,065	35,526
経常利益	209,299	235,899
税引前四半期純利益	209,299	235,899
法人税、住民税及び事業税	94,830	133,229
法人税等調整額	682	△30,417
法人税等合計	95,512	102,811
四半期純利益	113,787	133,087

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	2,346,287	2,538,515
原材料又は商品の仕入れによる支出	△476,801	△506,726
人件費の支出	△596,453	△600,269
その他の営業支出	△846,194	△621,708
小計	426,839	809,811
利息及び配当金の受取額	33,654	26,257
利息の支払額	△79,139	△70,475
法人税等の支払額	△241,414	△145,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,939	620,224
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,224	△28,245
定期預金の払戻による収入	236,000	34,000
有形固定資産の取得による支出	△30,734	△13,040
無形固定資産の取得による支出	△23,043	△1,249
貸付けによる支出	—	△46,000
貸付金の回収による収入	189,676	156,025
霊園開発協力金の支出	△40,253	△30,248
差入保証金の差入による支出	△24,316	△46,617
差入保証金の回収による収入	32,701	20,695
その他	△14,993	△21,336
投資活動によるキャッシュ・フロー	306,812	23,983
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	750,000	720,000
短期借入金の返済による支出	△821,340	△608,580
長期借入れによる収入	800,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△1,038,051	△1,181,535
社債の発行による収入	200,000	98,290
社債の償還による支出	△470,000	△53,000
自己株式の取得による支出	—	△31,906
配当金の支払額	△102,788	△100,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△682,180	△407,422
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△235,479	236,786
現金及び現金同等物の期首残高	1,189,158	1,178,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	953,679	1,415,760

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。